茨城県教育研修センター　特別支援教育課

令和３年度　若手教員〔初任者〕研修講座（特別支援学校）
新規採用実習助手研修講座（特別支援学校）

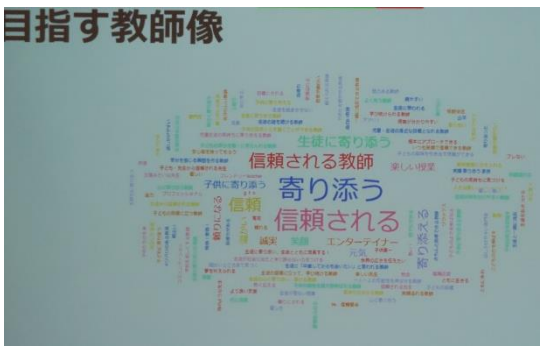
2021 年4月 15 日

初任者研修講座が始まりました

特別支援学校教諭 78 名、実習助手 2 名の若手教員〔初任者〕研修講座（15 日間）及び新規採用実習助手（６日間）の研修が始まりました。「ウィズコロナ時代の研修をどう進めるか」の視点を意識しながら、新型コロナウィルス感染症対策を徹底し、安心して研修に臨める環境を整え研修が行われました。

双方向による研修講座

今年度より、研修センターに FREE Wi-Fi が設置され、研修の中で受講者との双方向による研修が行えるようになりました。所長講話の中で、「BYOD」として、各自のスマートフォンから、「Mentimeter」を活用し双方向のやり取りを行いました。採用後 2 週間の「今の気持ち」や「目指す教師像」についてリアルタイムでのフィードバックをテキストマイニングにより視覚的に提示しました。「今の気持ち」では、楽しい気持ちが中心の中にありながらも、不安や緊張、新鮮、忙しいなど気持ちが表されていました。「目指す教師像」では、「信頼される」「寄り添う」という気持ちを中心に、楽しい授業、エンターティナーなど受講者の気持ちが表されていました。リアルタイムでのフィードバックにより、受講者の気持ちを受け止めながら、これから予測困難な時代を生き抜く力や中央教育審議会で示された「令和の日本型学校教員」について触れながら、これからの教育を担っていく受講者に向けメッセージを送りました。



午後には、オリエンテーションの中で「４月からの 15 日間の心の動き」というテーマで、受講者同士話し合いを行いました。今年度初めて教員として働く受講者や講師経験がありながらも、新たな障害種や部の違いに戸惑う受講者などが見られました。さまざまな悩みや不安を共有できたことで、安心したのか多くの笑顔が見られました。

受講者からも、「本日は研修を受けて同期との関わりもあり、明日から頑張ろうと思えました。」や「同期の先生方とグループで話をしたり、意見交換をしたことで、不安な気持ちは一人ではないことを知り、心が救われました。」という感想が聞かれ、明日からの活力となる有意義な時間となりました。